

2012年8月7日

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

**株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス**  
2013年3月期 第1四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 洋一、以下当社）は、本日、2013年3月期 第1四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

## 財務ハイライト

■ 第1四半期連結累計期間（4月1日～6月30日）  
百万円

	2013年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前年比
売上高	24,914	24,529	+1.6%
営業利益	△1,163	2,178	—
経常利益	△2,049	1,487	—
純利益	△2,077	690	—
1株当たり純利益	△18.05円	6.00円	—

■ ご参考：通期（4月1日～3月31日）  
百万円

	2013年3月期計画	2012年3月期	前年比
売上高	165,000	127,896	+29.0%
営業利益	15,000	10,713	+40.0%
経常利益	15,000	10,297	+45.7%
純利益	9,000	6,060	+48.5%
1株当たり純利益	78.21円	52.66円	+48.5%

詳細な情報は、本日開示の決算短信 (<http://www.square-enix.com/13q1tanshin.pdf>) をご参照下さい。

ご参考：スクウェア・エニックス・ホールディングス IRページ <http://www.square-enix.com/jpn/ir/>

2013年3月期 第1四半期は、家庭用ゲーム機ソフトにおいて、ニンテンドー3DS向けの「ドラゴンクエストモンスターズ テリーのワンダーランド3D」の販売が好調でした。また、PC・スマートフォン等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、「戦国IXA」や「ファイナルファンタジー ブリゲイド」が順調に推移する一方、多数のパイプラインに対する開発投資が先行しております。

なお、2012年5月14日に開示した2013年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では変更ありません。

当社は、事業環境の変化に対応した様々な取り組みを通じて、当該事業年度からの本格的な収益改善を目指しております。

<ご参考>

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数5,900万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（1億本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（3,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<http://www.square-enix.com/>）

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。  
※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。